

特別支援教育について

○特別支援教育とは

全ての児童生徒の自立に向けて、
一人一人の特性に合わせた指導や、サポートをすることです。



○クラスの中では

ご家庭と学校とで連絡を取り合いながら、どのような支援ができるかを考えます。

(支援例)

- ・支援員の配置
- ・タブレット PC の活用(教科書読み上げソフトの使用など)
- ・板書の量の調整、宿題の量の調整
- ・のびのび教室(※)



※のびのび教室(通級による指導)

週に 1 時間程度、別室で担当の先生が学習面や生活面で困っていることを克服したり、改善したりするための指導を行います。利用するために、医師の診断が必要なわけではありません。

苦手なことがあるのは、本人の努力が足りないのではありません。適切なサポートと周りの理解があれば改善されることがあります。しかし、そのまま過ごしていると、「友達みたいに上手にできない」

「私なんてどうせ…」「学校が楽しくない」という気持ち、大きくなりがちです。お子様の発達等について気になることがありましたら、早めに学校や医療機関へご相談ください。



○ふたば学級(特別支援学級)では

- ・ふたば学級で過ごす時間と、交流学級(1 年 1 組など)で過ごす時間があります。
- ・ふたば学級ではそれぞれに必要な力を身につけ、交流学級では集団活動に慣れ、多くの友達との関わり方を学びます。
- ・学習はそれぞれの力に合わせて進めるため、教科や内容によってどちらの教室で学習するかを決めています。
- ・休み時間は、ふたば学級で静かに過ごすことが好きな児童も、外で元気いっぱい遊ぶことが好きな児童もいます。

○学習用具について

不器用だったり、気が散りやすかったりして思うように学習ができない場合があります。そういった困りごとをサポートしてくれる文房具がたくさん市販されていますので、必要に応じて準備してあげてください。

【例】

えんぴつ…太くて三角軸
にぎりやすいグリップ



下じき…筆圧に合わせた材質



その他



えんぴつに関しては一般的な筆箱に入らないなどのデメリットもあります。

また、形がお友達と違うことを嫌がるお子様もいます。相談しながら準備を進めていただけるとありがたいです。

※今回ご紹介しているものはほんの一例です。